

2012年3月期  
第2四半期 **決算説明会**

2011年12月2日（金）

代表取締役社長 中川 博司



2012年3月期 第2四半期

**決算概要**

## 第2四半期 連結業績（前年同期との対比）

株式会社 **イナリサーチ**  
（単位：百万円）

	前期2Q 2010年4-9月	当期2Q 2011年4-9月	対前期増減	
	実績	実績	金額	増減率
売上高	1,846	1,389	△456	△24.7%
売上総利益	321	360	+39	12.1%
販管費・一般管理費	417	373	△44	△10.6%
営業利益	△96	△13	+83	—
経常利益	△131	△40	+91	—
当期純利益	△99	△22	+77	—

3

## セグメント別 連結業績（前年同期との比較）

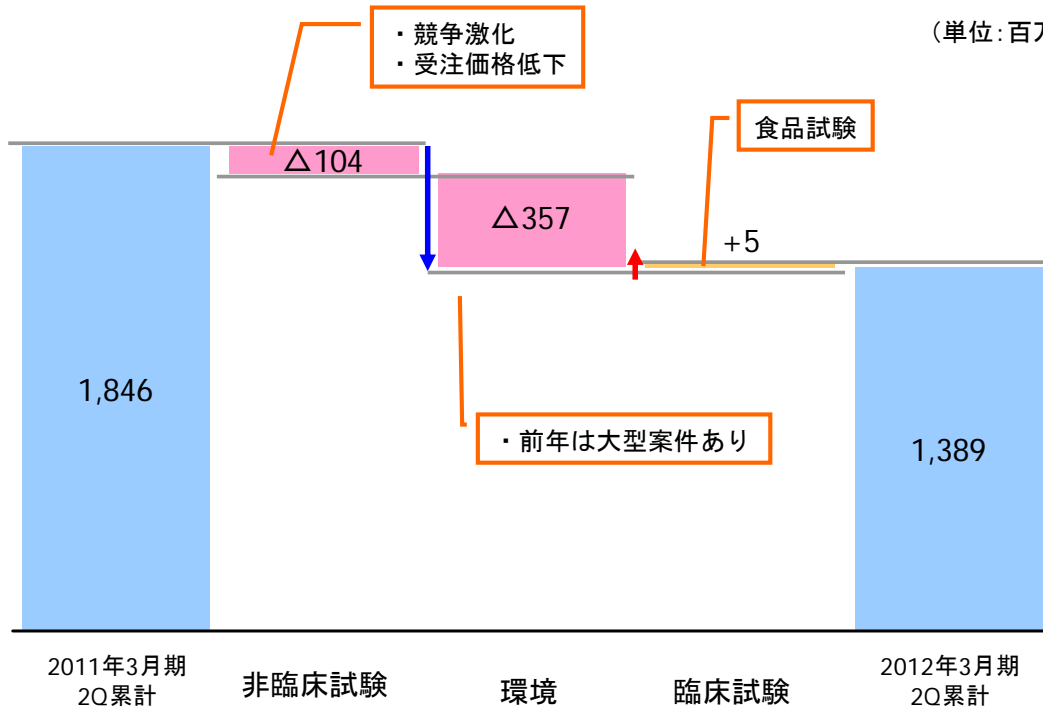
株式会社 **イナリサーチ**  
（単位：百万円）

		前期2Q 2010年4-9月	当期2Q 2011年4-9月	対前期増減	
		実績	実績	金額	増減率
非臨床試験	売上高	1,440	1,336	△104	△7.3%
	営業利益	△36	39	+75	—
臨床試験	売上高	0	5	+5	+2533%
	営業利益	△23	△33	△9	—
環境	売上高	405	47	△357	△88.3%
	営業利益	△35	△18	+16	—

4

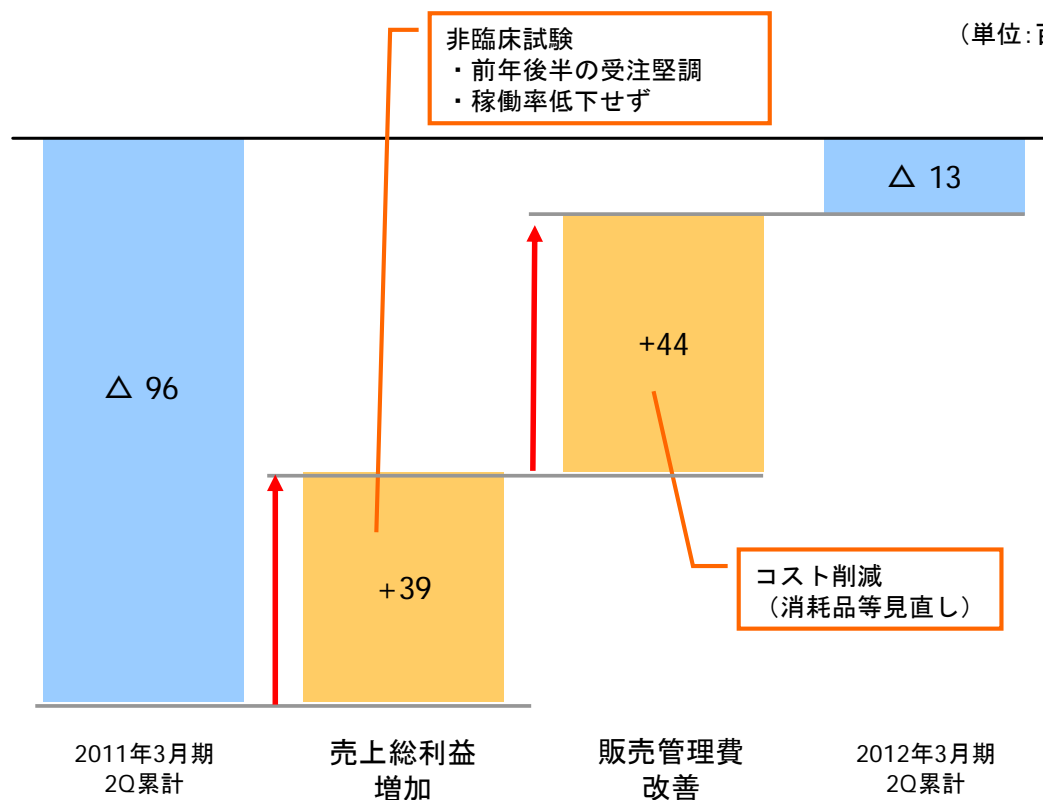
# 売上高増減内訳

(単位: 百万円)



# 営業利益増減内訳

(単位: 百万円)



## キャッシュフロー（第2四半期）

■営業活動によるキャッシュフロー：

主な内訳：税金等調整前四半期純損失39百万円、減価償却費133百万円、  
売上債権の減少額333百万円、仕入債務の減少178百万円

■投資活動によるキャッシュフロー：

主な内訳：有形固定資産の取得による支出9百万円

■財務活動によるキャッシュフロー：

主な内訳：長期借入金返済による支出217百万円

(単位：百万円)

	前期2Q 2010年4-9月	当期2Q 2011年4-9月	対前年同四 半期比較
営業活動によるキャッシュフロー	33	170	+137
投資活動によるキャッシュフロー	△200	△14	+200
財務活動によるキャッシュフロー	51	△299	△351
現金及び現金同等物の増減額	△117	△147	△29
現金及び現金同等物の期首残高	300	342	+42
現金及び現金同等物の四半期末残高	182	194	+12

## 業績予想

## 第2四半期 連結業績（業績予想との対比）

株式会社 **イナリサーチ**  
（単位：百万円）

	期初予想 2011年4-9月	2011年4-9月 実績	対当初予想増減	
			金額	増減率
売上高	1,452	1,389	△62	△4.5%
営業利益	△123	△13	+110	-
経常利益	△148	△40	+108	-
当期純利益	△82	△22	+60	-

9

## 通期 連結業績予想

株式会社 **イナリサーチ**  
（単位：百万円）

	上期	下期	通期
	2011年4-9月 実績	2011年10月-2012年3月 予想	年間予想 2012年3月期
売上高	1,389	2,412	3,864
営業利益	△13	300	177
経常利益	△40	276	128
当期純利益	△22	153	71

10

# 2012年3月期 配当予想について

## ■配当実績及び当期配当予想について

### 配当金額の推移

1株当たり配当金

2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 予想
1,100円	1,600円	500円	700円	800円

## 事業展望と課題の進捗状況

売上目標：50億円 (5年以内)

### 各事業の主な課題

- ◆ 非臨床試験事業：遺伝子解析を背景としたサル試験の開発
- ◆ 臨床試験事業：サロQT試験、探索臨床試験の受注。米国Cardiocore社との業務提携による心電図解析等周辺ビジネスの確立
- ◆ 環境事業：脱臭施設、防疫関連ビジネスを柱とした安定した売上の確保と利益体質への転換

## 非臨床試験事業 サル試験事業の拡大

カニクイザル遺伝子解析

- ◆ 課題：アレルギー、自己免疫疾患、感染症、ワクチン、ガンなど関連遺伝要因が特定され、それを背景としたサル試験の需要が増大
- ◆ 進捗：1) 特性調査（東海大・信州大との共同研究）  
サンプル採取・保存を開始  
2) MHC調査（滋賀医大との共同研究）  
科学技術振興機構（JST）の支援事業に採択（2010.10.19付）

### サロQT試験の受注～試験開始

- ◆ 課題：
  - ・ サロQT(Thorough QT)試験※<sup>1</sup> の受注、実施
  
- ◆ 進捗：
  - ・ **10月から11月にかけて、探索QT試験※<sup>2</sup>を3社より受注**
  - ・ **探索QT試験 1試験を実施開始**
  - ・ 現在10試験以上の案件について交渉進行中

※<sup>1</sup> サロQT試験  
臨床試験の初期段階で医薬品の循環器への副作用をヒト（健常者）により予測評価する試験

※<sup>2</sup> 探索QT試験  
臨床Phase I 試験に組み込んで実施するQT評価試験

### 受注安定、利益体質構築

- ◆ 課題：
  - ・ 継続的な積極営業活動展開、プロモーション活動
  - ・ 超大型物件プロジェクトや国家プロジェクトへの参画
  - ・ 提携企業の販売網を活用した飼育器材の拡販
  - ・ 新商品の市場導入、拡販
  - ・ 定期メンテナンスの拡大による安定収益の確保
  
- ◆ 進捗：
  - ・ 口蹄疫や鳥インフルエンザ等畜産業界・養鶏業界を根底から脅かす感染症に対するソリューションの提供
    - 防疫対策施設の開発・販売
    - 殺菌洗浄新商品（弱酸性ソフト水）の販売開始
  - ・ 脱臭新商品（カーボハニカム）の市場導入開始



### 提携先企業の販売網活用による拡販

- ◆ 心電図解析ビジネスへの参入・拡大
- ◆ 食品臨床試験のユーザー拡大
- ◆ 環境事業商品（空調システム、飼育器材等）の販売
- ◆ 韓国におけるサル試験の獲得

## 防災対策

### 試験の継続実施へ向けて

東日本大震災の警鐘に基づき、震災対策ならびに災害後の事業継続の重要性を再認識し、顧客の要望に応えるべく以下の取り組みました。

- ◆ 電力確保：自家発電による100%供給体制整備完了  
自家発電燃料備蓄の増強実施
- ◆ 耐震対策：建屋・機器設備の耐震対策完了
- ◆ 給水対策：新たな水源確保を目的として現在井戸掘削中

## 下期課題：収益改善・確保への取り組み

### 売上の確保と施設稼働率の改善

- ◆ 短納期試験の受注、飼育／試験機器の販促による今期売上げの上積み
- ◆ サル試験の受注拡大による施設稼働率の向上⇒売上総利益率改善

### 原価・一般販売管理費の徹底した削減

- ◆ 重点投資案件以外の投資の圧縮
- ◆ 試験プロセスにおけるムダ取りの実施、工数削減
- ◆ 在庫レベルの見直しと内製化による原価削減
- ◆ 販売管理部門における徹底した人件費・経費抑制の継続

ご清聴ありがとうございました

## IR連絡先

本資料に関するお問い合わせ

株式会社イナリサーチ  
社長室 IR担当

TEL : 0265-73-6647

医薬品開発のベストパートナー

 **Ina Research Inc.**

<http://www.ina-research.co.jp/>

## 本資料に関するご注意

本資料は、株式会社イナリサーチの事業及び業界動向に加えて、株式会社イナリサーチによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさ、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社イナリサーチは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、平成22年12月2日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社イナリサーチにより平成22年12月2日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。